

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



有料入館者26万人目は 甲州市立松里中の皆さん！

去る5月12日(木)、校外学習で金山博物館を訪れた松里中学校の1年生37人の中から、幸運の26万人目の有料入館者が出ました。クラス全員に行き渡ったチケットの中で"260000"と刻印されたものを手にしていたのは、雨宮雷勝くん。クラス代表として谷口館長から花束と記念品を受けとった雷勝くんは「校外学習という稀な日に26万人目選ばれて、とても嬉しいです。」と話してくれました。また、学年主任の碓井先生は、「今日は天気が悪いと思って来たら、天気にも恵まれ、こんな幸運にも恵まれ、とても嬉しいです。砂金採り体験はとても楽しく、また訪れたいと思います。」と、突然の幸運に喜んでいました。

館内見学の前に、引率の校長先生、担任の先生もみんな一緒に記念写真をパチリ。その後は、館内学習も体験も十分に満喫し、終始笑顔で、館を後にしていきました。

後日、松里中第1学年の皆さんに特製金箔記念入館章をお送りさせて頂きました。おめでとうございます!!

寺院と金山のまち身延

県考古学協会が身延町で地域大会開催

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口 一 夫

山梨県考古学協会と身延町教育委員会では、6月4日(土)、身延町総合文化会館において、2011年度の地域大会を開催いたしました。この地域大会は考古学協会の研究活動プログラムの一つで、毎年県内市町村を巡回しています。地域の歴史を地域の皆様と共に学び、新たな歴史認識を共有したい、という開催趣旨があります。今回の地域大会では4名の講師から発表があり、その後、質問に答える時間が設けられました。発表はいずれもパワーポイントを使い、画像資料と照らし合わせながら、丁寧に分かりやすく解説が加えられました。

発表①は、「身延町の遺跡」と題して、身延町教育委員会・坂口広太氏から行われ、身延町内の70にも及ぶ遺跡と、歴史の重さを改めて学んだといえます。特徴的なことは、弥生、古墳、奈良時代の遺跡はまだ未確認ですが、縄文時代と中世の遺跡、特に中世には重要遺跡がたくさん見られます。平安から奈良にかけての梅平の「南部氏館跡」、「日蓮上人草庵跡」を含む身延山久遠寺周辺の寺院跡、「穴山氏の居館・下山城遺跡」と城下町（本県に3か所ある城下町の一つ）、それから本町には7か所の「金山遺跡」などが残されています。とりあえず重要な遺跡は「下山城跡」ですから、城下町を含めた総合的な調査が求められていると言えます。

発表②は「南部氏から穴山氏へ～身延の中世」と題して、山梨県立博物館学芸員・海老沼真治氏から、文献史学の切り口から、「加賀美遠光と河内地域」、「波木井実長の拠点（飯野牧波木井郷）」、「南北朝内乱と南部氏の移転」、「波木井実長とその子孫」、「穴山氏の河内進出」、「戦乱の時代」、「穴山氏の居館・下山」、「武田氏一族としての穴山氏」という流れの中で起きた歴史を丁寧に解説されました。

発表③は「身延山の歴史と伽藍」と題し、身

延山大学教授・望月真澄氏から「中世の身延山」「近世の身延山」「近代の身延山」という括りで、各時代に起きた歴史事象を、発展段階に則り、丁寧に解析し分かりやすく解説していただきました。

発表④は「湯之奥金山3金山遺跡の概要と課題」と題し、湯之奥金山博物館館長を務める筆者から発表いたしました。すでに、町内の皆様には博物館公開講座(これまで70回開催)や研修会、館内解説などで理解していただいています。今回の発表でも、日本の産金史は8世紀から砂金採掘に始まり、15世紀末頃から金鉱石から産出する初源期山金山遺跡として「鉱山技術史上の画期」があった金山という認識を強く持って欲しいということ、その現場が山中に「国指定史跡」として守られている、ということをお伝えし、締め括りました。

最後まで熱心に聴講していただきました皆様、共催していただきました身延町教育委員会様には、協会会長の立場から改めて厚く御礼申し上げます。

山梨県考古学協会 二〇一一年度 地域大会

地域大会周知ポスター

身延のまちと金山の寺院

日時：平成23年6月4日(土) 午後1時

会場：身延町総合文化会館

内容：(1)「身延町の遺跡」
坂口広太氏(身延町教育委員会)
(2)「文献から見る中世の身延」
海老沼真治氏(山梨県立博物館)
(3)「身延山の歴史と伽藍」
望月真澄氏(身延山大学)
(4)「中世の甲斐金山と穴山氏」
谷口一夫(甲斐黄金村・湯之奥金山博物館)

※入場無料(どなたでも参加できます。)

主催：山梨県考古学協会・身延町教育委員会

お問い合わせ：055-353-6141 山梨県考古学協会事務局(東京大学山梨文化財研究所内)

平成22年度 有料入館者報告

平成22年度 博物館入館券別利用状況

年月	開館日数	区分	有料入館者				無料入館者	年月	開館日数	区分	有料入館者				無料入館者
			大人	中学生	小学生	合計					大人	中学生	小学生	合計	
22.4	3週無休開館 26	観覧	450	1	59	510	30	22.11	26	観覧	524	2	4	530	72
		体験	234	31	68	333				体験	263	10	100	373	
		共通	387	53	48	488				共通	247	18	22	287	
		小計	1,071	85	175	1,331				小計	1,034	30	126	1,190	
5	27	観覧	712	2	9	723	34	12	23	観覧	303	1	1	305	7
		体験	532	135	207	874				体験	126	3	24	153	
		共通	397	55	103	555				共通	149	5	29	183	
		小計	1,641	192	319	2,152				小計	578	9	54	641	
6	25	観覧	379	1	13	393	51	23.1	26	観覧	264	1	16	281	11
		体験	312	2	144	458				体験	206	15	72	293	
		共通	264	4	29	297				共通	90	4	17	111	
		小計	955	7	186	1,148				小計	560	20	105	685	
7	27	観覧	309	2	20	331	20	2	24	観覧	326	1	1	328	5
		体験	352	18	131	501				体験	125	3	52	180	
		共通	340	24	84	448				共通	154	5	69	228	
		小計	1,001	44	235	1,280				小計	605	9	122	736	
8	無休開館 31	観覧	713	15	195	923	80	3	1週無休開館 27	観覧	165	3	4	172	0
		体験	781	92	369	1,242				体験	100	5	44	149	
		共通	950	126	329	1,405				共通	53	9	7	69	
		小計	2,444	233	893	3,570				小計	318	17	55	390	
9	25	観覧	444	14	103	561	30	合計	314	観覧	5,139	44	426	5,609	361
		体験	383	7	66	456				体験	3,667	332	1,345	5,344	
		共通	304	11	84	399				共通	3,631	332	1,098	5,061	
		小計	1,131	32	253	1,416				小計	12,437	708	2,869	16,014	
10	27	観覧	550	1	1	552	21	※企画展・特別展、見学会、映画会、砂金掘り大会、探検隊などのイベント参加者は上記表内のカウントに含まれておりません。							
		体験	253	11	68	332									
		共通	296	18	277	591									
		小計	1,099	30	346	1,475									

続く不景気の影響で、観光業は厳しい状況が続いてきたところに、さらに先の震災の影響が大きく響きました。身延町の名物・しだれ桜の咲く3月は、温泉郷内を歩いている人を見かけないほどに、客足は遠のき、結果、平成22年度の博物館有料入館者数は16,014人となりました。

しかし、今もなお、震災の影響でご不便されている方々を含め、一日も早い被災地の復興をお祈り申し上げつつ、博物館という立場から、おいでくださったお客様に楽しい時間を過ごしていただけるよう注力して参ります。小さな積み重ねや楽しさが、大きな力や大きな元気になっていくように、今年度も変わらぬご支援・ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

県内各小中学生が多数来館、金山を学習しています！

年度も新しくなった4月から、この6月にかけて、県内の小中学校が多数、来館してくれています。町内からは原小学校、久那土小学校、下部小学校、県内からは、敷島中学校、浅川中学校、押原中学校、白根御勅使中学校、松里中学校、白根巨摩中学校、竜王中学校、玉穂中学校、鰍沢中学校が来てくれました。

小学生がクラス単位での遠足や課外授業であるのに対して、中学生は山梨県の文化や歴史を学び、郷土に対する自覚と誇りを持つことを目的に、グループごと行動する県内めぐりやふるさと訪問という時間を使って来館します。自分達で見学コースや電車・バスの乗り継ぎを調べて来館してくれるのですが、さすが中学生だけあって、博物館を案内している最中は質問攻めにあい、反対に砂金採り体験では終始無言になって採るほどの集中力を見せてくれました。

小学生も中学生も温故知新の精神を培って、これからの山梨県を背負って行ってほしいですね。

活動報告

ラトウ 螺灯・竹灯工作教室

5月21日(土)、22日(日)

連休が終わって一段落した5月21日(土)、22日(日)の二日間にかけて、「螺灯・竹灯工作教室」を開催し、小学生から大人まで2日間・全4回の教室で多くの方がご参加され、楽しんでくださいました。この教室は、先の震災直後、この下部温泉郷も人が歩いていない程に沈みがちになってしまっていたことを耳にされた久間英樹先生（松江高等専門学校教授）が、自分の立場の中で何か少しでも役に立てるようなことが出来ればということで、はるばる島根県からおいでになり実施して下さったものです。



さて、螺灯とは、江戸時代の石見銀山で採掘に従事した人が明かり用に使用しており、サザエの貝殻に鯨油や菜種油などを入れて灯芯に点火して火をともしとして使用したものです。薄暗い間歩（＝坑道）の中での貴重な灯として使われていましたが、明治時代に入り、他の照明器具が発達すると次第に使われなくなったようです。また、竹灯とは、先生が「石見ではラトウだけど、こちらは貝ではなく竹を使った竹灯を使用していただろうから、やはり、こちらで行う工作なら竹の灯りも作っていただきたい」という提案から、アレンジされたものです。

この工作は、サザエの貝殻なり、竹なりに7色発光型LEDとボタン電池、スイッチが一体となったユニットを入れ、ボタン操作でLEDを点灯させる仕組みです。ですから、螺灯・竹灯のいずれも、精密基盤にハンダでLEDランプを取り付けるなど、難しい作業が多いものでした。中には、ハンダ付け作業が初めてという子はもちろん、学校の授業で習って以来、十数年ぶりという大人の方など、様々な様子が見受けられました。



しかし、螺灯作りは久間先生も地元の松江高専では年間100回以上という相当な回数を行っており手慣れたものですが、実は、今回の竹灯作成は初めての試み。久間先生自身も「どうなるのだろうか」と悩みながらの工作だったようです。しかしそんな心配をよそに、全教室とも全員きちんと完成しました。自分で組み立てた螺灯や竹灯に灯りがついた時には、自然と拍手が起きました。参加者の皆さんからも、『昔の生活を垣間見ることができる良い体験でした』、『先生がわかりやすく指導して下さったので完成した時はとても嬉しかった』という声がたくさん寄せられました。

なお、今回の参加料は、久間先生のご厚意により東日本大震災の救援金として「湯之奥金山博物館工作教室参加者より」として、全額、山日YBS厚生文化事業団を通じて募金させていただきました。ありがとうございました。

久間先生も「次回はもっとグレードアップした螺灯作りにして、みんなに喜んでいただきたいですね」という言葉をいただいておりますので、また次回の工作教室の開催を楽しみにしていただきます。



2011年夏休み恒例イベント開催のお知らせ

大変好評いただいている「科学（化学）実験教室」。より多くの子供たちが、体験的な実験を通して、化学を学ぶ楽しさ、驚きや魅力を感じる絶好の機会です。今年は身延町発明クラブとの共催事業として「夏休み自由研究 第3回 科学実験教室」を開催いたします。

講師を務めてくださるのは、東西中高砂金掘り大会でも、東京・開成学園を率いる宮本一弘先生。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。まずは身近なところから化学&科学に親しもう！



■期 日：平成23年7月23日(土)

■講 師：宮本一弘 先生 (東京・開成学園教諭・理化学部顧問)

■共 催：公益社団法人 日本化学会 夢科学21委員会

■参加費：1実験 各200円 (身延町発明クラブ所属者は無料です)

■場 所：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 多目的ホール

■対 象：小・中学生 ※就学前のお子様でご参加希望される場合は保護者同伴でお願いいたします。

■定 員：各回とも15人まで (要 事前申込、重複参加可能)

■実験内容及び実験開始時間

第1回実験…「シャボン玉を浮かべる!?!」&「冷却パックを作ろう!」(仮)

【時 間】 9:30~10:30 【対象】 小学校低学年向け

第2回実験…「光の不思議(偏光板の実験)&電気不思議」(仮)

【時 間】 11:00~12:00 【対象】 小学校低学年向け

第3回実験…「消える絵?」&「色の不思議」(仮)

【時 間】 13:30~14:30 【対象】 小学校高学年から中学生向け

■申し込み・問い合わせ…湯之奥金山博物館

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003まで

※お申し込み時には、参加希望実験、参加されるお子様のお名前・学年、ご住所、電話番号、同伴される保護者の方のお名前をお伝えください。なお、昨年の実験に、新実験やアレンジを加えて開催予定ですが、内容が変更になることもありますので、ご承知置きください。

第11回こども金山探険隊参加受付終了 7月30日(土)~31日(日)開催!

■期日：平成23年7月30日(土)~31日(日)

待ちに待った夏休み人気プログラム・こども金山探険隊は11回目を迎えます。今年も各地から多くの方にお申込みいただき、定員に達したため、募集は締切とさせていただきます。ありがとうございました。参加される皆さん、今年の夏も素敵な思い出を作りましょうね!

2011年 砂金掘り大会参加者募集！！

来る 8 月 6 日(土)開催！参加者募集中！

午前 9 時（受付 8 時 30 分開始）～12 時 30 分迄 ※予備日 7 日(日)・小雨決行

毎年恒例、博物館夏の祭典「砂金掘り大会」。ジュニア、男女初心者、男女ベテランと 3 部門に分かれています。参加者定員は、全部門混合で先着 100 名まで。現在、参加者募集中。「我こそは砂金掘りの腕に覚えあり！」というアナタ。是非、ご参加ください。

参加締切：開催日前日（5 日）の午前中まで

定員：100 名まで

参加費：大人 500 円 小・中学生 300 円
（受付時に頂戴いたします。）

競技部門：ジュニアの部（小～中学生）

男女初心者の部（高校生以上の男女）

男女ベテランの部

（年齢制限なし・過去入賞経験のある方は自動的にベテラン部門にエントリーされます。）



砂金掘り大会
特製オリジナル
トロフィーは
誰の手に？

各部門上位 3 位までに入賞された方には、メダルと賞状が贈られます。また各部門の 1 位同士で「頂上決戦（同条件一本勝負）」を行い、1 位となった方が 2011 年砂金掘り大会総合優勝者です。総合優勝者には記念トロフィー＆豪華副賞（砂金掘り大会 WINNER の証・オリジナル純銀製コイン）を差し上げます。

■お申し込み・お問い合わせは当館（0556-36-0015）まで。お申込まいただいた方には 7 月中旬くらいに参加要項をお送りさせていただきます。

- 8:30～ 湯之奥金山博物館集合・受付開始
- 9:00～ 開会式・ルール説明（デモ試合を含む）
- 9:30～ 競技開始【ジュニア部門】
- 10:05～ 【男女初心者部門】
- 10:40～ 【混成予備試合】
- 11:10～ 【男女ベテラン部門】
- 11:30～ 【頂上決戦】
- 11:40～ ミニゲーム
- 12:00～ 結果発表・表彰式
- 12:30 一般大会終了。解散。
- 14:00～16:30 第 8 回 東西中高交流砂金掘り大会
- 17:00 すべてのプログラム終了・解散



砂金掘りの腕を学生達が競い合う！いま、学校大会が面白い！



第 8 回東西中高交流砂金掘り大会

同日 午後 2 時～ 4 時 30 分まで

砂金掘り大会一般大会の後は、午後から第 8 回東西中高交流大会！昨年優勝校・山梨学院大学附属中高に立ち向かうのは、常連・灘、開成、今年出場 2 度目の峡南高校、そして今年は、華やか女子チーム大妻中学高等学校が参戦！強豪の常連校に立ち向かう女子力は未知数！？今年の栄冠はどのチームに輝くのか！？気になる勝負の行方は果たして…？こちらも皆様の応援よろしくお祈りします！

【参加校】 灘（兵庫）、開成学園（東京）、大妻中学高等学校（東京）、山梨学院大学附属（山梨）、峡南高校（身延町）

★★夏休みイベント当日ボランティア募集中。すべてのお問い合わせは湯之奥金山博物館まで★★

館からお知らせ

開館時間：午前9時～午後6時まで（受付は午後5時30分まで）

休館日：毎週水曜日（祝日に当たる場合はその翌日）ただし、8月中は無休開館です。

暑い夏を、工夫して節電しながらみんなで乗り切っていきましょう。

なお、節電対策により、開館時間の変更などがある際には、博物館ホームページにて、随時お知らせしていきます。

夏休み自由研究プロジェクト2011

期日：平成23年7月18日(月) 午後1時30分～4時30分迄

場所：アイメッセ山梨（甲府市大津町2192-8）

山梨県下博物館美術館が集まって、自由研究のヒントを特別に教えちゃうよ。毎年恒例の合同プレゼンに、今年も湯之奥金山博物館は出張砂金採り体験のブースと共に参加いたします。

「砂金採りをやったことがない!」「どんな感じの体験なんだろう?」そんな興味をもった人にはうってつけのイベント。会場では他の博物館や美術館の解説ミニブックも手に入り、一日でいろんな施設の情報を手に入れるチャンスですよ。どうぞお運びください。

博物館日誌（平成23年4月～6月）

3月24日(木)	魅力作り協議会研修
4月6日(水)	休館日
10日(日)	県議会選挙投票日
11日(月)	下部デイスタービス町内遠足1日目
12日(火)	下部デイスタービス町内遠足2日目
13日(水)	休館日
15日(金)	下部デイスタービス町内遠足3日目、 諏訪中県内めぐり
18日(月)	古文書教室
20日(水)	休館日（玉穂中県内めぐり）
21日(木)	魅力作り協議会研修
24日(日)	博物館開館記念日
27日(水)	休館日
28日(木)	ゴールデンウィーク期間中無休開館 （5月10日(火)まで）
29日(金)	古閑地区歩け歩け大会
5月2日(月)	久那土小3、4年生
3日(火)	町内歩け歩け大会、クラフトパーク出張砂 金採り出店（5日迄）
11日(水)	休館日
12日(木)	入館者26万人達成
18日(水)	休館日
20日(金)	押原中、K・M・I・X、F・Mラジオ取材
21日(土)	螺旋・竹灯工作教室（1日目）
22日(日)	螺旋・竹灯工作教室（2日目）、 JRさわやかウォーキング
23日(月)	古文書教室
24日(火)	山梨日日新聞取材、浅川中県内めぐり
25日(水)	休館日
26日(木)	敷島中県内めぐり、原小下部めぐり
30日(月)	竜王中県内めぐり
31日(火)	竜王中県内めぐり、下部小3年町内遠足
6月1日(水)	休館日
4日(土)	山梨県考古学協会地域大会於総合文化会館

編集後記

蛍の季節です。今年は先の大雨の影響か、例年より飛ぶ数が少ないかも？なんて感じます。もっとも、今年の見頃は例年より遅め。ちょうどこの『館だより57号』がお手元に届き始める、6月中旬くらいが予想。あくまで予想です。風流な蛍見物の話題を耳にすると間もなく、本格的な夏がやってきます。大規模な節電が各方面で叫ばれる中、私たちが知恵を絞り協力しな

がら、この夏を乗り切っていきましょう。

そしてちょっと宣伝。『金山史研究第9集』がひっそりと売店で販売開始されております。

価格は1,200円（応援団価格1,000円）です。内容は、平成18年度公開講座の記録となります。また、この夏が過ぎたころには、追って10集（19年度）、11集（20年度）が、店頭には並ぶ予定です。博物館においでの際はお手にとって見本をご覧になっていただき、ご興味のある方は、是非ともご購入いただけると嬉しいです。

博物館だより 第57号 平成23年6月16日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunoking@town.minobu.lg.jp

砂金掘り大会 参加選手受付中!

夢を掴むのは誰だ!

大会の詳細は 本号6ページをチェック!



GET THE DREAM GET THE GOLD!

THE Yu-no-oku MUSEUM OF GOLD MINING HISTORY 砂金掘り大会

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

第11回 こども金山探検隊

2011 7/30 SAT・7/31 SUN

知能・才能から
自分の可能性を>>>

■7/30日付
金山探検
湯之奥金山(湯之奥)
遊山探検隊

■7/31日付
【新採掘機体験】
■参加費 無料(500円)
■対象 小学生

■お申込締切 2011年7/26日迄

第11回 砂金掘り大会

2011 8/6 SAT

■参加費
大人(高校生以上) 小中学生300円
500円

■競技項目
□ミニゲーム
□小学生特設ゲーム
□砂金掘り
□新採掘機体験
□新採掘機体験

■お申込締切: 2011年7/26日迄

第11回 東山探検砂金掘り大会

2011 8/6 SAT

■お申込締切: 2011年7/26日迄

第11回 科学実験教室

2011 7/23 SAT

■対象 小学生

